

## 29 Lesson 9 (1)

### 物について補足説明しよう

英語監修・出演 阿野幸一

**きょうの目標** 情報を付け加えて詳しく説明することができる

- 名詞を後ろから修飾して補足説明する **which**
- 関係代名詞 **that**

**文法・表現** 後置修飾、関係代名詞 **which**

#### 名詞を後ろから修飾して補足説明する **which**

次の文を見てみましょう。

This is a castle.

(これは城です)

目の前にある城を見ながらこの文を聞いても、城であることは一目瞭然のため、伝えるべき情報を持つ文にはなっていません。そこで、**a castle** にどのような城であるかの情報を加えることで意味のある文になります。

This is a castle.

↑ 情報を後ろから追加 〈どんな城かという〉

which was rebuilt in 1992 (1992年に再建された)

その結果、次のような伝えるべき内容を持つ文になります。

This is a castle which was rebuilt in 1992.

(これは、1992年に再建された城です)

この文では、**a castle** を **which was rebuilt in 1992** が修飾しています。

ここで使われている **which** は、**a castle** と **which** 以下の文をつないで関係づける役割と、**it(=the castle) was rebuilt in 1992** の代名詞 **it** の役割をすることから、関係代名詞と呼ばれます。関係代名詞が導く文によって修飾される名詞(ここでは **a castle**)を先行詞と言います。この文のように、先行詞が人以外のものときには、関係代名詞に **which** を使うことがあります。

英語では、名詞に対し分で情報を加えて説明するときには、後ろから修飾します。

ほかの例でも確認しましょう。

Shurijo Castle is a sightseeing spot. (首里城は観光地です)

↑ 情報を後ろから追加 〈どんな観光地かという〉

which is very famous and popular

(とても有名で人気がある)

⇒ Shurijo Castle is a sightseeing spot which is very famous and popular.

(首里城は、とても有名で人気のある観光スポットです)

Okinawa also lost a lot of pigs. (沖縄はたくさんの豚も失いました)

↑ 情報を後ろから追加 〈どんなたくさんの豚かという〉

which were raised there (そこで飼育された)

⇒ Okinawa also lost a lot of pigs which were raised there.

(沖縄は、そこで飼育されたたくさんの豚も失いました)

### 関係代名詞 that

関係代名詞の **that** を使った例も見てみましょう。

先行詞が人以外のものときには、上の文のように関係代名詞に **which** を使うこともありますが、多くの場合は **that** を使います。

There are many convenience stores. (コンビニが多くあります)

↑ 情報を後ろから追加

〈どのような多くのコンビニかという〉

that sell fruit and vegetables (果物と野菜を売っている)

⇒ There are many convenience stores that sell fruit and vegetables.

(果物と野菜を売っているコンビニが多くあります)

## あの先生のこの話!



## 豚は pig それとも pork ?

日本語では、動物の豚は「豚」と言いますが、食用の肉になると「豚肉」と言います。どちらも「豚」という言葉を使っています。では英語ではどうでしょうか？

豚のことは **pig** と言いますが、食用の豚肉は **pork** と言い、呼び方が変わります。

では牛はどうでしょうか？ 牛にはいくつかの英語での呼び方がありますが、私たちがいちばん耳にするのは乳牛を表す **cow** という単語だと思います。そして牛肉は **beef** と言い、豚と同様に動物の牛と食用の牛肉では異なる単語を使います。

さらに、羊は **sheep** ですが、食用の羊肉は **mutton** と言います。

ではニワトリはどうでしょうか？ ニワトリの場合には、鶏肉になっても **chicken** と言い、動物も食用の肉も共通の単語を使います。

ちなみに、泳いでいる魚は **fish** と言いますが、食用の魚になっても **fish** で同じです。

動物によっては、動物の名前と食肉の言い方が異なる場合があるので、注意して使ってくださいね。

